

2013年度 立命館大学国際言語文化研究所

萌芽的プロジェクト研究 B5

課題「東・東南アジアにおける移民のソーシャビリティに関する多角的研究」

第1回 東・東南アジア移民研究会

日時：2014年1月16日（木） （17時～18時30分）

場所：立命館大学衣笠キャンパス 学而館2階第2研究会室

研究報告

題：フィリピン系移民の集住と組織化—シドニー大都市圏ほかを事例に—

報告者 阿部 亮吾（愛知教育大学教育学部 講師、人文地理学）

※報告約1時間 質疑応答 約30分

【報告者の研究業績】

エスニシティの地理学—移民エスニック空間を問う（単著） 古今書院 2011年12月

*2013年度 日本都市学会賞（奥井記念賞）受賞

・東・東南アジア移民研究会（申請書から抜粋）

本研究の目的は、東・東南アジアの各地において、国境をまたいで移動する人々が具体的な施設を拠点としていかなる独自のソーシャビリティを形成・拡大しているかを考察し、その多様性と独自性を多角的に明らかにすることである。

問合わせ先

東・東南アジア移民研究会 研究代表者
永田貴聖（立命館大学 衣笠総合研究機構
専門研究員）
atsumasangt(at)gmail.com

参加無料

事前申込不要